

呉市手をつなぐ育成会 ～2.3月合併号～

育成会だより



令和3年3月1日発行
呉市手をつなぐ育成会
会長 品川 美保子

〒737-0051
呉市中央5丁目12-21
呉市福祉会館 3階
Tel (0823)24-2260
Fax (0823)24-2568
E-mail kure-teotunagu@herb.ocn.ne.jp
<http://kure-teotunagu.org/>

障がい児者を守り、その福祉の向上を図ることを目的とします



呉市立昭和北小学校
ひまわり学級作



ひまわり

つばきと蝶



呉市立川尻中学校
つばき学級作

つなごう！『ことばと笑顔の交差点』

呉市手をつなぐ育成会
会長 品川 美保子

「子育て四訓」を紹介します。

子育てにおいて、成長と共に大切にしていきたい四つの教えです。

乳児 肌を離すな

幼児 肌を離せ 手を離すな

少年 手を離せ 目を離すな

青年 目を離せ 心を離すな

乳児は、母親のおなかの中では臍の緒でつながっていました。だから、この時期はしっかりと抱っこして肌と肌を触れ合わせることが大事です。

幼児は、抱っこから下におろして自分で歩かせます。しかし、手を伸ばせば届くところに親がいるという距離感が大事です。

少年は、一人にして欲しくなる時期です。「ほっといてくれ。」と言い出します。

行動範囲を広げてやりつつも目を離さずしっかりと見ていて、子どもが声を上げるとすっ飛んで行くことができる距離感が大事です。

青年になると、いつも貴方を気にかけているよ。貴方に心は向いているよというメッセージを送り続けることが大事です。

乳児から青年までの成長や自立に関わっている我々が大切にしていきたいことです。

子育て四訓を大切に、ことばと笑顔をつないでいきましょう。

もくじ

- 表紙 『呉市立昭和北小学校』 『呉市立川尻中学校』
P. 2 つなごう！『ことばと笑顔の交差点』 目次
P. 3 祝卒業 卒業生のご家族に今の気持ちを聞いてみました。 卒業お祝い贈呈
P. 4-5 卒園おめでとう！呉本庄つくし園卒園文集より 青い鳥はがき
特別支援学級合同運動会メダルに感謝
P. 6-7 ぼくの学級！わたしの学級 『呉市立昭和北中学校』『呉市立川尻小学校』
P. 8 本人活動報告 ～はつらつの仲間へメッセージを送ろう！～
P. 9 呉市立小中学校特別支援学級合同作品展 サポートファイル学習会
行動障害児者への適した環境と適切な対応の確保を早期に求める要望書提出
P. 10 お礼 お知らせ 編集後記 広告

3月の予定

3月21日(日)

本人部会会議 10:30 (つばき会館) うたう会 13:30 (つばき会館)

※いくせい太鼓の練習日は、直接お問い合わせください。

※毎週水曜日は定休日です。





祝卒業



卒業生のご家族に今の気持ちを聞いてみました。

生まれた時は、双子だったからか未熟児で生まれ、1ヶ月保育器で育ちました。

その後、「入院するかも」と先生に言われましたが、入院する事なく元気に育ってくれて、あっという間の卒業だったと思います。



小さい頃は、みんなと一緒に行動するのが苦手で、行事に参加ができず心配しましたが、まわりの人々の

協力で少しずつできる事が増えて、そのたびに涙した事を思い出します。

地域の学校では1人のクラスで気持ちは楽でしたが、寂しかったようです。

呉南特別支援学校では、クラスメイトができて、すごく嬉しそうでした。

高校では、あこがれる先生に出会いました。その先生を目標にがんばっている姿を見ると、成長したと嬉しく思いました。4月から社会人。今まで以上に、元気に頑張りたいと思います。

森 文代

6年間沢山の努力を見せてもらいました。宿題ができないと泣く姿に「なぜできないの。」「ちゃんと考えなさい。」と責めたこともありましたが、教育相談に行き、そこで言われた言葉に気付かされました。「やる気のない子は、最初からやりません。分からないと泣くのはSOSでやる気があるからです。信じてあげてください。」子どもを信じるという基本を忘れていました。

宿題をさせないと、勉強をさせないと、と焦る気持ちばかり大きくなって、精一杯やろうとしている姿を見ようとしていなかったと思いました。それから支援学級に入り、本人のペースに合わせて授業が進んだ事で確実に学力が身に付いていきました。

分からないと泣いていたのに、自分でランドセルから宿題を取り出し「俺できるよ。」と笑顔で言われた時はホッしたのを覚えています。6年の授業には、まだ追いついていませんが「俺、頑張ってるよ。」と前向きな姿に、私が勇気をもらいました。中学生になる事で、不安も沢山あると思いますが、今の気持ちで強く進んで楽しい中学生ライフにしてほしいと思います。

加登岡 由里香



例年、呉市立中学校特別支援学級卒業激励会が行われていましたが、今年度はコロナ感染予防のため開催されませんでした。

卒業生の皆さんへ、育成会より記念品とメッセージカードを贈呈させていただきました。

また、呉本庄つくし園の卒園児の皆さんや、呉市立小学校特別支援学級の卒業生の皆さんへも、あわせて贈呈させていただきました。

皆さんご卒業・ご卒業おめでとうございます。

新生活たくさん楽しんでください。



昨年度の卒業を祝う会の様子

本年度の記念品贈呈式をいたしました。



「子どもの力を信じる」

つくし園には年少から3年間通わせていただきました。つくし園の事を知ったのは子どもが2歳になったばかりの頃です。

初めての子育て、大変なのは当たり前だと言いつ聞かせても、どう頑張っても思うようにいかない育児。ただ2歳位までは育てにくいと感じた事はありませんでした。むしろ人見知りもせず、何でもよく食べよく笑って、一人遊びをしてくれる本当に親孝行な子どもだと思っていました。

ただ乳児の頃から睡眠が安定せず1時間に一回起きるとい生活が3歳近くまで続いていました。

1歳すぎた頃に「いないいないばあ」とカーテンに隠れて笑顔で言っていた息子を見て、この先どんどん成長していくんだなと楽しみにしていました。しかし1歳半を過ぎた頃、保育園の先生から「目が合いにくい、名前を呼んでも振り向かない」と聞いた頃には、気がつく息子の言葉は消えていました。

まさか、順調に成長しているとばかり思っていた私はパニックで、この先この子をどう育てていけばいいのか分からない、道が無くなってしまったように思っていました。

つくし園を見学に行ったその日、藁をも掴む思いで、すぐにでも入園したいと申し出ました。もちろんすぐに入園できる訳もなく、月に一度外来に通い入園を待ちました。外来では、座っている事も出来なかった事を思うと、入園してからの3年間の成長をすごく感じます。

つくし園を初めて見学をした時、スケジュールを見て行動する子ども達をみて、我が子には無理だと思っていた事が今は当たり前のように出来るようになりました。

また入園前までは母親と離れると激しく泣いていたので、園バスに乗れないだろう、少なくとも1ヶ月は無理矢理連れて行く事になると覚悟していました。しかし、彼は初めて園バスに乗る日、泣きもせず一度もこちらを振り返らずバスにスッと乗り込んでいったのです。その姿が今でも忘れられません。乗り物が好きな彼にとっては1号バスに乗ることは楽しかったのだと思います。

いつも「1号バスまだかな？」とバスを待っている時道路の向こうを見つめるようにしています。

先生がバスから手を振ってくれる姿を見ると、恥ずかしそうに笑っています。帰りのバスを降りた後も、バスが曲がり角で見えなくなるまで見送っています。毎日安心して子どもを送り出すことができていました、本当にありがとうございました。

つくし園での生活は、子どもの力を信じてくれた先生方のおかげで親子共々、色々なチャレンジが出来たと思います。まず入園してから3ヶ月間、園では一切の飲食をしなかった時は本当に心配で、先生と相談し、初めて園でジュースを飲んでくれた時は、本当に嬉しかったです。その後も、園でなかなか給食を食べることが出来ず、お昼には好きなお菓子を準備していただいていたいました。卒園まで給食を食べて帰らないかもしれないと諦めていた年中の秋ごろ、園で初めてふりかけご飯を食べた時には、先生が涙を流して喜んでくれました。我が子の成長と一緒に喜んでくださる事が、とても心強く感じました。それ以来、園で好きな献立が出た時にはおかわりすることも増えました。家では食べないチーズや、はんぺんフライなどが連絡帳に食べたと書いてあるときには驚きました。園で食べたメニューを参考に家で食べられるものも増えました。毎日、美味しい給食を作って頂き、本当にありがとうございました。

つくし園に入って、初めての発表会。息子だけではなく、一緒に過ごしてきたお友達の成長を見ると、息子の出番の前から涙が溢れていました。それぞれ子ども達が頑張っている姿は本当に心が温かくなりました。

みんなの前で課題を達成した息子は今までに見たこと無いほど自信に溢れていて驚きました。

親はつい「この子には無理」だと考えてしまいます。子どもの成長を願う前に、諦めてしまう。

だけど、3年間、先生方はずっと子どもの成長する力を信じ続けてくださいました。親がくじけそうな時には、一緒に悩んで、喜んでくださいました。子どもだけではなく、親の

井手本 祥子
井手本 周（6歳）



事も信じて励まし続けてくださった事、本当にありがとうございました。

子どもが園で過ごした3年間には豪雨災害やコロナ禍など誰も想像もしなかった事態が起きました。そんな時に、私は初めて「息子が感じている不安はこんな感じなのかもしれない」と思いました。彼のいつも通りのルーティーンは、不安を解消するためだとすれば、彼を見習ってみようと思えました。不測の事態になり、初めて彼の気持ちに寄り添えた気がしました。もしかしたら、この子は親が思う以上に強いのかもかもしれません。息子は自分で考え、感じる力を持っている。息子はまだ6歳だけど、6年間の経験と力がある。親の方が、子どもの成長にまだ追いついていないのかもかもしれませんと思っています。

4月からの新しい環境は、不安でいっぱいです。それでも、子どもの後ろ姿を見ていたら「もうお兄さんだな」としみじみと忘れてしまいます。将来のことを考えると不安で「このまま子どものままでいてくれたらいいのに」と思う事もあります。だけど、息子は「今」を目一杯楽しんでいる。将来の姿は想像もつかないけれど、少なくとも、生きることを楽しんでいる息子の姿は思い浮かびます。この先も、少しずつ親の手を離れていき、成長していくことに、嬉しさと寂しさがあるんだなと最近とても感じています。また、つくし園での生活を通して、親以外にも頼れる人、安心できる人をたくさん知ることが出来たのではと思います。

これから先も、迷い悩んでいくと思いますが、そんな時は、根っこにある「つくし園」で教えてもらった大切な事を思い出すと、前に進めるような気がします。また保護者の皆様とお話することで、孤独だと思っていた育児でしたが、少し力を抜く事ができました。直接お話することが少なかった先生方も連絡帳の中で、子どもと遊んでくださった姿が思い浮かび、私の知らない子どもの姿を知ってくださっていることが、とても嬉しかったです。

これから息子は、新しい世界へ歩き出しますが、つくし園で育った力やこれからの成長する力を信じて、見守っていきたいと思います。きっと卒業式も入学式も「いつも通り」の周ちゃんだろうな、それが彼の力で、私がどんなに心配しても涼しい顔でスッと先に歩いて行ってしまおうな・・・そんな想像をするとクスッと笑いが出てきます。この頃は買い物袋を運んでくれ、お手伝いもしてくれるようになり、家族を助けてくれる存在にもなっています。

3年前には想像すら出来なかった姿です。これから先も、子どもの成長を楽しみにしていきたいと思います。3年間つくし園に通う事ができて良かったです。

最後に、関わっていただいた全ての皆様、本当にありがとうございました。



青い鳥郵便葉書をご存じですか

青い鳥郵便葉書は、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒に通常はがき20枚を封入したものです。はがきのやり取りを楽しんでいただきたいと無料配布されています。

【申込み方法】 郵便局の窓口で身体障害者手帳または療育手帳を持っていきましょう。

「青い鳥郵便葉書配付申込書」に必要事項を記入して、窓口へ提出。

代理人による申し込みも可能です。



特別支援学級合同運動会メダルに感謝

今年度は特別支援学級合同運動会が、新型コロナウイルス感染予防のため中止となりました。とても残念に思っていたのですが、呉グリーンライオンズ様より「応援メダル」を頂きました。子どもと一緒に喜びました。ありがとうございました。



ぼくの学級！
わたしの学級！

SUN SUN 学級

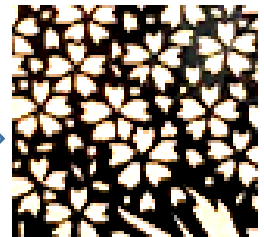
呉市立昭和北中学校

昭和北中学校には、SUNSUN学級（サンサン学級）という学級名で、
1組3名、2組5名が在籍しています。
交流の授業や教室で完成度の高い作品を作っています。

段ボールで作った巨大な
家があります。中に入ると
落ち着ける場所です。



切り絵「宵桜」



木組「金閣寺」



切り絵「ハイキュー！！」



木組「油屋」
(千と千尋の神隠し)



ライトアップ



オリジナルバッグ



呉市立川尻小学校（たんぽぽ・ひまわり学級）

ほくの学級！
わたしの学級！

たんぽぽ学級2名，ひまわり学級7名 合計9名 みんな仲良しです。

いっしょに勉強したり遊んだりしています。みんなの様子をお知らせします。

これからもみんなで力を合わせてがんばります。



ひまわり学級の前に池があります。主事の先生と力を合わせてきれいにしました。めだかやエビを観察することができますようになりました。

1月の寒かった日には、池が凍って1cmの氷ができていました。みんな寒くても長靴を履いて池に入って、凍っている池の観察をしました。めだかやエビは元気そうにしていました。



鬼は外
福は内



2月2日に節分集会を行いました。自分の心の中にいる「なまけ鬼」「泣き虫鬼」「おこり鬼」など悪い鬼を退治しました。





ほんにんかつどうほうこく 本人活動報告



なかま おく ～はつらつの仲間へメッセージを送ろう！～

ころなか がいしゅつじしゅく つと なか かつどう でき ねん
 コロナ禍で外出自粛に努めている中、いくつかの活動が出来た1年でした。
 けんない なかま みな
 県内の仲間の皆さんもいっしょにがんばりましょう。

まえの しげお
前野成生

かしき さぎょうしょ かよの木作業所に通って
 います。作業所で作った「かしの
 木カレンダー」の2月に僕の書
 が載っています。ユーチューブ
 にはまっています。

しろもとふさえ
城本房江

今年度は、そうめんの会・カレーの会・カラオケの会など楽しい計
 画や勉強会、たくさんのイベントへの参加を計画していたのですが、
 ほとんどが中止になりました。早くコロナが終わってほしいです。
 作業所から帰ったら家のことをしています。認知症が進んだ母の
 世話が大変です。年金のことは自分でしています。

えぐちたかこ
江口孝子

家から歩いて月・木・土の10時に作業所に通って
 います。作業所の車で時々山や海へドライブに連れ
 て行ってもらいます。
 父が11月に亡くなりました。一人になりましたが、
 近くにいるお兄ちゃんとヘルパーさんに助けられてい
 ます。

いしいかつゆき
石井克行

いつものように仕事に行っていて、前の生活
 と変わっていません。本人部会には、自転車で行
 っています。卒業した中学校のみんなとの
 「教室」が月に1回あります。11月の会で安佐
 動物園に行きました。

しもはなとうる
下花透

職場から仕事以外の外出は禁止されていますが、
 育成会の行事には参加できます。本人部会の活動報告
 を、書記の田原さんが来れないので代わりにしています。
 育成会だよりに載るのが楽しみです。

しんたくあきお
新宅晃織

今年から田原さんと一緒に本人部会の書記
 になりました。会議でボードに書くのに字が分
 からなくて時間がかかるけど、みんなに教えて
 もらいながら書いています。今年の勉強会で
 字を書く会が2回ありました。年賀状を書く会
 で、初めてお父さんお母さんに書きました。
 大変喜んでもらえました。

たはら ひでとし
田原 秀登志

2月に今年やりたいことをまとめて、4月からの本人
 部会を楽しみにしていたのですが、コロナで集まること
 が出来なくなりました。お世話になっている
 グループホームの感染予防対策で、6月から本人部会が
 始まりましたが、出席出来ませんでした。
 やっと9月に障害福祉課の人との住みやすい呉市に
 するためについて話し合う会で久しぶりに参加しまし
 た。しかし、会が終わったら、僕は感染予防の為ひとり
 ホームに帰りました。早くコロナが収まり、カラオケに
 行ったりみんなとゆっくりりたいです。

とくながしげゆき
徳永繁行

朝はマックスバリューに仕事に行っていま
 す。昼からは野呂山学園に行っていたのです
 が、ずっとお休みでした。10月になってやっと
 行けるようになりましたが、また休みになり今
 は、また行っています。マスクや熱を計ること
 は毎日自分でやっています。2匹の犬の散歩
 も毎日しています。月曜日と木曜日と金曜日の
 ごみ出しも僕の仕事です。

～第44回 呉市立小・中学校特別支援学級合同作品展～



1/15(金)～1/19(火)呉市役所1階多目的室にて開催されました。

入口には生徒さんが作られたアルコール消毒器があり、使わせて頂きました。一生懸命作られた、沢山の作品を見ることができました。ありがとうございました。



サポートファイル学習会

今年度第3回サポートファイル学習会行われました。9名の方が参加され、サポートファイル記入後には、最近の困りごとや、良い解決策など、情報交換をしました。

参加者の声

ずっと気になっていた、サポートファイルを知ることができ、作成できそうでも有難い時間になりました。今のうちに書くことができ安心です。お話も分かりやすく楽しい時間になりました。

もらったままで、いつか書かなければと思っていたので良い機会になりました。放課後ディサービス等で子どもの事を伝えることが増えてくるので、サポートファイルを活用したいです。少しずつ書きます。



行動障害児者への適した環境と適切な対応の確保を早期に求める要望書提出

(一社)全国手をつなぐ育成会連合会では、行動障害児者への適した環境と適切な対応の確保について、一般社団法人日本発達障害ネットワーク、一般社団法人日本自閉症協会、一般社団法人全日本自閉症支援者協会との4者連名により、厚生労働省へ要望を提出いたしました。

要望の内容は、大きく「支援体制の確立に向けた早急な計画立案」「(仮称)行動障害支援センターのナショナルセンター構想」「家庭・教育・福祉で一貫性のある取組みとなるような国の基本体制」の3点となります。

緊急事態宣言再発令の状況下にあっても、とりわけ強度行動障害児者には短期入所など必要不可欠な支援が届いていないケースも報告されており、可能な限り早く支援体制を構築することが求められています。

※詳細はホームページをご覧ください。

＊あいがとうございました＊

【順不同・敬称略】(2月19日現在)

ご寄付・切手をいただいた皆様

岩木 達 様 匿名の皆様



広島県手をつなぐ育成会 互助制度のご案内

(育成会の入院保険・AIG損保の普通傷害保険)

心身に障害のある人が病気やケガで入院をし、付添看護が必要となったときや、突発的に他人に損害を与えたときの大きな出費にそなえて、いざというときのためにみんなで助け合いましょう。これが「広島県手をつなぐ育成会 互助制度」です。

病気とケガでの入院に備えて

入院保険

- 付添看護保険金
- 差額ベッド費用保険金
- 入院一時保険金
- 入院諸費用保険金

入院保険 引受認可特定保険業者
一般社団法人 広島県手をつなぐ育成会

ケガをしたときや 他人への損害賠償に備えて

傷害保険

- 入院保険金
- 手術保険金
- 通院保険金
- 死亡保険金・後遺障害保険金

他人への損害賠償金

普通傷害保険 引受保険会社
AIG損害保険株式会社

2つのプラン①スタンダード型 12,000円②補償充実型 18,000円がございます。詳細はパンフレットまたは、育成会のホームページをご覧ください。

元気の出る情報・交流誌

「手をつなぐ」の紹介

「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関する教育・福祉・労働等々の諸施策などの記事を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している機関紙です。

当事者のことを念頭において、およそ50年近く発行してきました。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。

※購読希望の方は、呉市手をつなぐ育成会へお問合せ下さい。(年間購読料 3,900円)



編集後記

3月、旅立ちの時です。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防のため、行事がいつものようにできず残念でした。皆さんの心の中には、コロナ禍での思い出が残る年となったことでしょう。

育成会の仲間も、会えない寂しさより、再会した嬉しさを力に日々過ごされているようです。


2月に入って、サポートファイルの問い合わせが多くなっています。

子どもに記録が残せるのは、皆さん(保護者)です。いつでもお問い合わせください。

寒さを堪えた皆さん一人一人に、素敵な花の芽が出て成長されることを祈っています。

高圧受電設備・配電盤・分電盤・制御盤

各種の 設計、製作、保守業務

 根石電機工業株式会社

本社・工場/〒737-0821 広島県呉市三条1丁目4番15号

TEL(0823)21-4901(代) FAX(0823)21-4920

E-mail: neishi@alto.ocn.ne.jp

オリジナルデザイン

Tシャツ・ブルゾン・トレーナー・横断幕
マグカップ・記念盾・ストラップ……など

1点から承ります。

UNIX

Printing Solution Company

株式会社 ユニックス

呉市広白石1丁目2-34 TEL(0823)72-8000

www.unix-press.com